

化学工学会安全部会 テクニカルレポート(NO41)

「廃棄物処理施設の安全を考える」

廃棄物処理施設での事故がいまだに多発しています。その頻度は一般の化学プラントに比べて10倍以上の頻度との統計もあります。2003年に起きた三重県RDF貯蔵設備などのように、事故の多くは廃棄物処理施設で危険物などを取り扱い化学反応を伴うことや潜在するエネルギーの大きさを十分に認識できていないことに起因する部分が多いと考えられます。

廃棄物処理は一般的には市街地の中に設置されているものが多く、事故が発生した場合は住民を巻き込むことも想定されるため、化学プラントと同様に高度な安全対策が必要であり、2006年7月～2009年4月までワーキンググループを新たに立上げ安全対応の研究を行いテクニカルレポートとしてまとめました。

目次の概要は下記の通りです。

- 第1章 廃棄物による事故の特徴と事故情報
- 第2章 関連法規(廃棄物処理法とその課題)
- 第3章 設計の現状
- 第4章 運転管理の現状
- 第5章 物質安全の観点から見た、廃棄物処理の安全管理
- 第6章 廃棄物処理施設における安全情報管理システム
- 第7章 安全管理アプローチ

1部3000

申込み先 E-mail : yamazaki@scej.org (@を半角@に変えてお送り下さい)

(社)化学工学会安全部会事務局 山崎文毅

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-6-19

TEL : 03-3943-3527 / FAX : 03-3943-3530